学校園に係る適正配置の検討について

○経緯経過

高梁市立学校再編推進審議会（平成30年３月）からの答申

・基本的な考え方…　**1）教育環境を確保するための小中学校再編の基本的な考え方について**

・学校の再編基準／準備委員会の設置（少なくとも３年前）

【小学校】原則として、全校で２学級以下が継続的な状態となり、児童にとって十分な教育効果の保障が困難となる場合

【中学校】原則として、１学年の生徒数一桁が継続的な状態となり、生徒にとって十分な教育効果の保障が困難となる場合

2）教育目標を達成するための教育施策のあり方について

・小規模校がデメリットにならないよう新しい教育環境制度への取り組みと研究、地域と一体となった開かれた学校づくり

・前回答申後の動向 → 答申時には想定していなかった、急激な出生数の減少により、学校園の適正配置計画策定の必要性

○高梁市学校園適正配置検討委員会

・第1回（令和5年9月7日）：委員会設置の背景　：学校園を取り巻く本市の現状
・第2回（令和5年10月11日）：学校園配置の考え方　：適正配置検討の視点（案）
・第3回　：適正配置計画及びスケジュール

適正配置計画に向けて

○適正配置の考え方

① 再編対象の学校規模

【新基準】 小学校：全校児童数が１４人以下になる場合
中学校：１学年の生徒数一桁が継続的な状態となる場合

【旧基準】 小学校：全校で２学級以下が継続的な状態となる場合
中学校：１学年の生徒数一桁が継続的な状態となる場合

② 再編先

・児童生徒の通学負担を軽減するために、再編先の学校間までの距離や通学時間を考慮する。
通学時間はおおむね１時間圏内が望ましいとする。
・小学校については、中学校の再編スケジュールを見据えて再編先を検討する。
・同一学校が再編を繰り返すことがないよう、中・長期的視点に立って再編整備を行う。
・兄弟姉妹で就学する学校が異なる場合等、再編に伴う就学学校変更については、個別の事情に配慮し、柔軟に対応する。

③ 通学手段の確保

・公共交通機関と現行のスクールバスを利用する。
・公共交通及びスクールバスの利用ができない場合は、スクールバスの新ルート設置等通学手段を確保する。

適正配置計画に向けて

④ 小規模特認校

・少人数の学校での学習活動を希望する児童の受け皿とするため、全校児童１４人以下を再編とする新基準を適用しない。
・ただし、２年連続で小規模特認校制度を利用し就学する児童がいない場合は、再編の対象とする。（例えば、令和６年度・７年度実績がない場合は、２年間の再編準備期間を設け、令和９年度末で再編とする。）
・小規模特認校制度を利用しての就学児童があった場合でも、旧基準に該当する場合は、再編対象とする。
・望ましい教育環境確保の観点から、小規模校を現在の２校以上設置する必要性は認められないため、今後新たに小規模特認校の募集は行わない。

⑤ 義務教育学校

・有漢学園は、今回の適正配置の考え方の対象とはしない。
・中・長期的な学校の在り方について協議・検討が必要である。

⑥ 準備委員会

・再編年度の少なくとも２年前には準備委員会を設置する。
ただし、地元（ＰＴＡやまちづくり、コミュニティ協議会等の団体）からの要望又は市教育委員会が必要と認めた場合は、設置することができる。

適正配置計画に向けて

○就学前教育保育施設の考え方について

現状の基準

・幼稚園の再編基準

○幼稚園設置の設置及び学級編制に関する基準（抜粋）
　第2条　園児数20人以上をもって設置の基準とし、3人以下となった時には廃園又は休園とする。ただし、3年以内に4人以上となる見込みのある場合は、廃園又は休園しないことができる。

・へき地保育所の再編基準（平成27年まで）

○へき地保育所の休園又は廃園の基準（抜粋）
　2　園児数が3名以下になるときは、休園とする。
　3　前項の規定にかかわらず、3年以内に5名以上となる見込みのある場合は、休園しないことができる。
　4　第2項の状態が継続すると予想される場合は、廃園できるものとする。

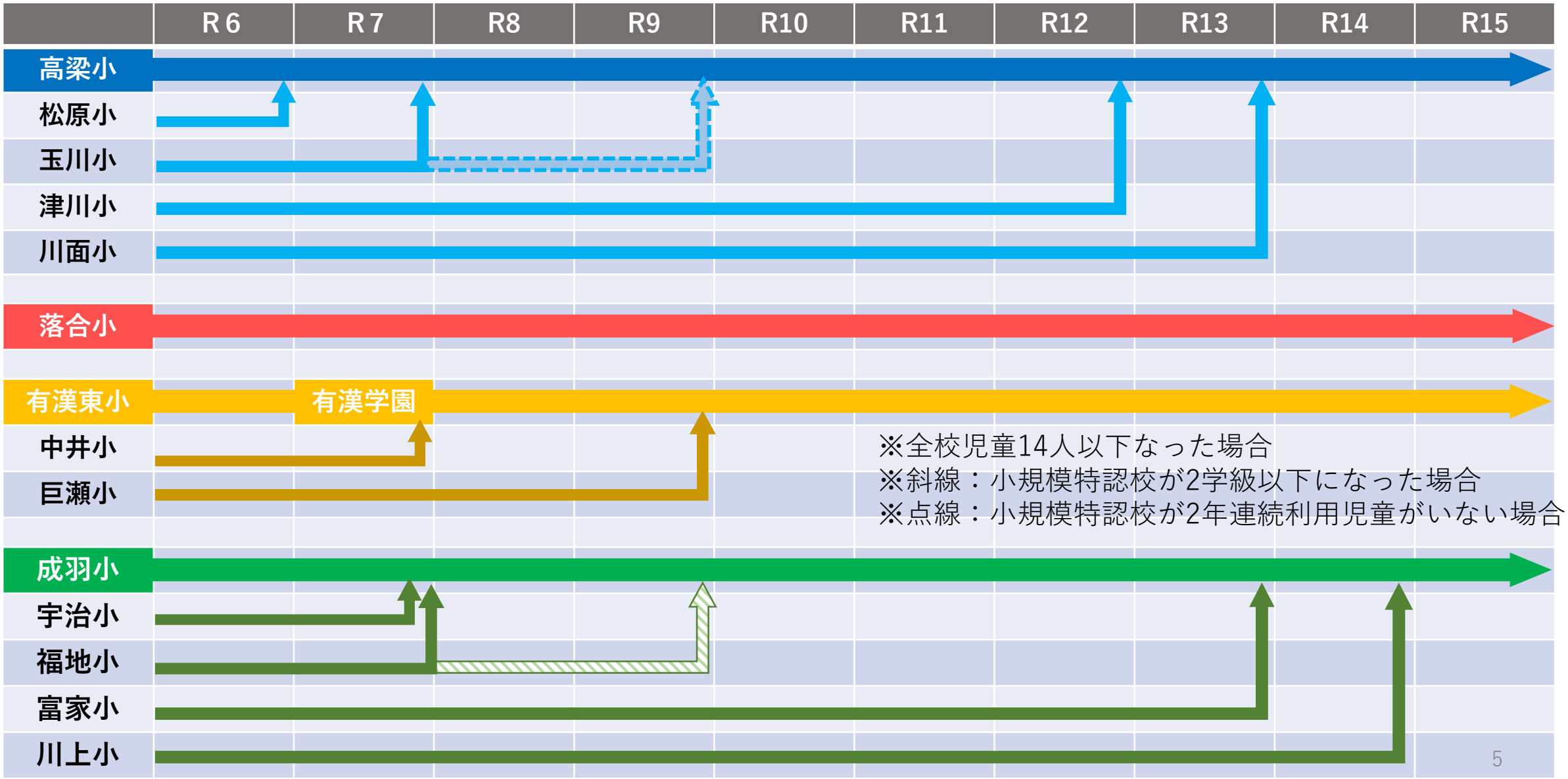
→ 市内の各幼稚園へき地保育所を廃園又は休園

新たに設ける基準

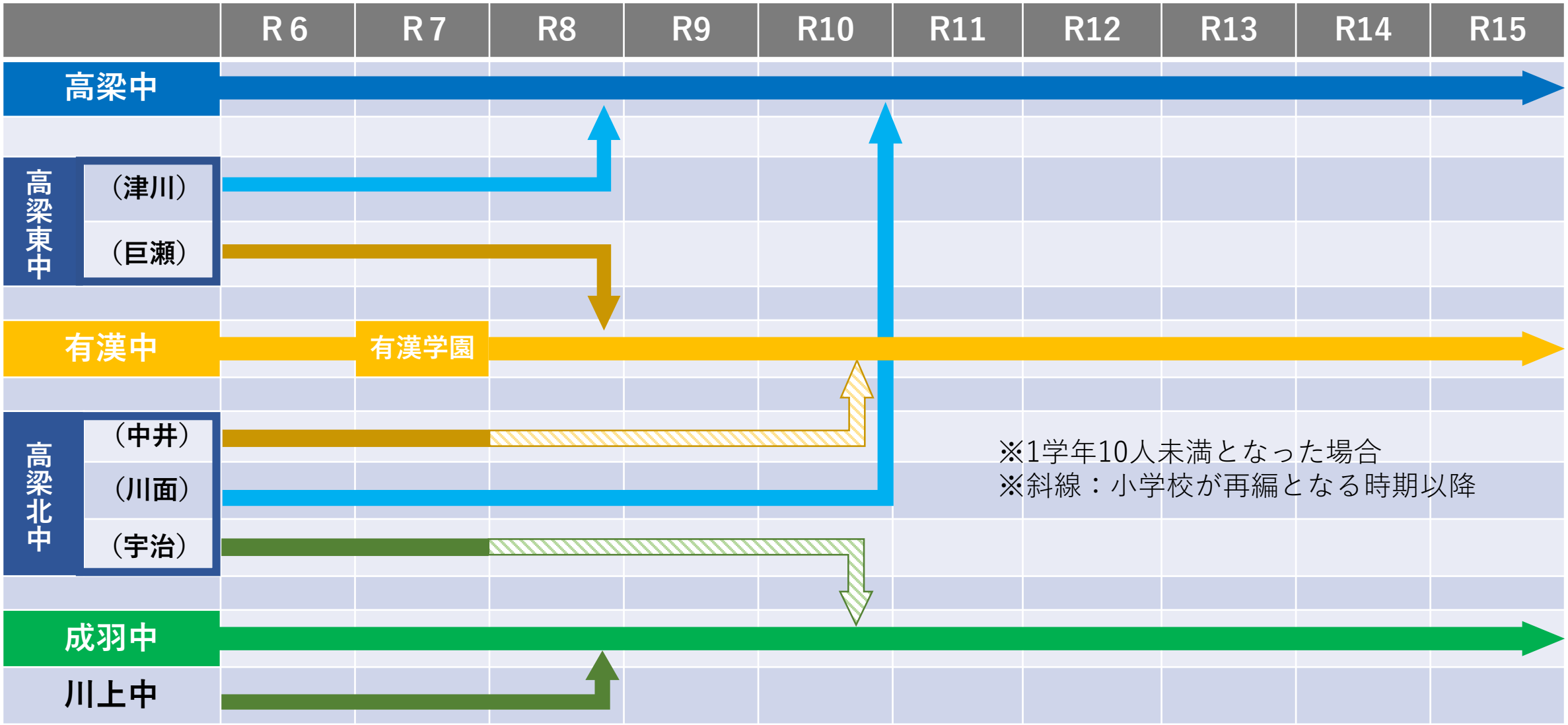
・こども園及び保育園

　園児数20人以上をもって設置の基準とし、3歳以上の園児が3人以下となった時には廃園又は休園とする。ただし、3年以内に4人以上となる見込みのある場合は、廃園又は休園しないことができる。

適正配置計画（案）　【小学校】


R６
R７
R８
R９
R10
R11
R12
R13
R14
R15
高梁小
松原小
玉川小
津川小
川面小
落合小
有漢東小
有漢学園
中井小
巨瀬小
成羽小
宇治小
福地小
富家小
川上小
※全校児童14人以下なった場合
※斜線：小規模特認校が2学級以下になった場合
※点線：小規模特認校が2年連続利用児童がいない場合

適正配置計画（案）　【中学校】


R６
R７
R８
R９
R10
R11
R12
R13
R14
R15
高梁中
高梁東中
（津川）
（巨瀬）
有漢中
有漢学園
高梁北中
（中井）
（川面）
（宇治）
成羽中
川上中
※1学年10人未満となった場合
※斜線：小学校が再編となる時期以降